

測量計算・電子野帳 (TS)

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2025/09

Ver 5.0.3 にて追加された機能です。

- ・ GeoCOM 取得したライカ定数-34.4 をプリズム定数とする
- ・ GeoCOM 機、器械高を取得、補足

1、GeoCOM 取得したライカ定数-34.4 をプリズム定数とする

ライカの場合、ライカ定数、-34.4 があります。
プリズム定数 0.0 の場合 +34.4 を TS に設定します。
この状態で、A-AdB から取得すると、+34.4 が
取得されます。
このまま、APA ファイルにプリズム高として保存されています。

今回、取得した値-34.4 をプリズム高とするという
条件を追加しました。

A-SurveyAdB TS条件

○ K

測量機: ライカ GeoCOM (モ.. ▼)

タイムアウト: 10 秒

ウェイト: 500 ミリ秒

測距回数: 1 最大4回

サーチ範囲

水平: 15 度 鉛直: 15 度

放射トラ、他

☐ 自動追尾 ☒ 自動視準 ☐ なし(手動)

杭打ち、丁張

☐ 自動追尾 ☒ 自動視準 ☐ なし(手動)

☐ 杭打ち振向は、水平のみとする

☒ パワーサーチ OP

☒ BS:自動視準しない

☐ 外部出力 点名、FH

☐ パワーサーチ範囲は上記を使用

☐ 自動追尾機能のある機種

☒ 取得したライカ定数-34.4をプリズム定数とする

後視観測時や、ターゲットの変更時に
定数を取得していますので
この時に、値を変更します。
「器械点情報」や、
マルチボタンの 82 (プリズム定数) に設定されます。

「対回観測」では「情報取得」ボタンで取得する事が
できます。
よって「情報取得」時も同じ処理をします。

←——— ここにチェックを付けます

下記は、おさらいです。

TPS1200Pr.txt の内容は下記になっています。

測距モードの一覧から、選択してターゲットを変更できます。

9 はユーザ定義で、この時の、キーは名称です。

TS 側で、この名称で登録されている必要があります。

それぞれの後ろにある、34.4 とか 30.0 はメモで、TS に設定する値ではありません。

TS 側で設定してある値です。

9,"0mm",34.4,
9,"-30mm",4.4,
7,≡ 360 ,30.0,
0,1 素子,0.0,
12,MPR122,28.1,
3,360°,23.1,
1,GMP111,17.5,
8,GMP111-0,0.0,

| 名称 | ライカ定数 | 絶対定数(プリズム定数) |
|----------|-------|--------------|
| 0mm | 34.4 | 0.0 |
| -30mm | 4.4 | -30 |
| ≡ 360 | 30.0 | -4.4 |
| 1 素子 | 0.0 | -34.4 |
| MPR122 | 28.1 | -6.3 |
| 360° | 23.1 | -11.3 |
| GMP111 | 17.5 | -16.9 |
| GMP111-0 | 0.0 | -34.4 |

ライカでは、絶対定数＝プリズム定数 なので
今回の条件により、プリズム定数に出来ます。

2、GeoCOM 機、器械高を取得、補足

5.0.1 でマルチボタンを追加し、オートハイトした器械高を取得する機能を追加しました。

その後、掲示板に TS で下記の手順が必要な事が判りましたので追加します。
以下、掲示板の投稿からです。

T S 起動後、メニューの「器械点設定」タップ後、器械設定項目の中に器械高を設定するところがあるので、
そこでオートハイトしておいて、その後「OK」タップ→「セット」タップ。
(器械点設定は、スタートアップに登録しておけば、T S 起動後画面にでできます)

オートハイトは、整準の画面内でもできますが、整準の画面では、高さを取得（画面表示）するだけなので取得できない。

TS の ROM のバージョンにより、違いがあると思いますがここに、オートハイト機能があると思います。
ここで、実行し「OK」・「セット」の後、マルチボタンで取得。